

研修会開催報告

「保健師職能集会・講演会」7月8日開催

公益社団法人神奈川県看護協会
保健師職能委員会

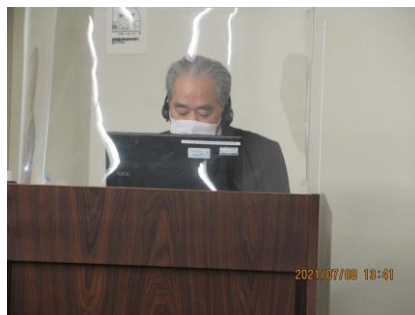
2021年9月17日

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、初めてのオンライン開催となりました。申し込み方法、受講方法などすべて変更して臨みましたが、皆様のご協力により、無事開催することができました。

【保健師職能集会】

まず初めに、保健師職能集会を開催し、2021年6月に神奈川県看護協会会長に就任された、長野広敬会長よりご挨拶をいただきました。長野会長からは、新型コロナウイルス感染症の対応に従事する看護職への労いのお言葉をいただきました。

また、今年度の保健師職能委員会の委員について、新旧委員長より紹介をさせていただきました。



【講演会】

エニアグラムは、自己成長とコミュニケーションのための人間学で、自分を理解すること・他人を理解することを学びます。「どうして自分はこうしたいのか」「何を大切に思っているか」「自分の価値観は何か」を深く掘り下げることで、本当の自分を見つけていきます。その結果、他者のことも尊重し、自分の特性も相手の特性も理解し、受け入れられる組織づくりへつながっていきます。



エニアグラムとは、『自分探しの旅』です。人は9つのタイプに分かれます。

事前課題として、自分がどのタイプに当てはまるのかを検討し、申告していただきました。自分はどんな特性を持っているのかを知ることで、他者を知り、豊かな人間関係へとつながっていきます。

人は奥深い存在で、タイプ1～9のすべてのタイプをもつとのことですが、エニアグラムのタイプは、表面に現れる行動ではなく、“無意識の「動機」”の違い“によって9つのタイプに分けられるとのことでした。

受講生の皆様との双方向性のある講演会とするため、Zoomのブレイクアウトルームを活用したグループセッションを複数回実施しました。

グループは、同じタイプの方同士を同じグループになるようにしました。

「自分を文房具に例えると」「自分を動物で表すと」をテーマにグループセッションを行い、最終的には、「自分たちの強み・自分たちの弱み」「自分の特性を、職場でどのように活かすのか」までを話し合いました。

○質疑応答（1名）

質問：無意識の領域は過去の周囲の言葉や感情など様々なものがあると思いますが、自分の中にある固着している価値観が変わればエニアグラムのタイプも変わってくるのでしょうか？

回答：エニアグラムのタイプは、生まれたときに決まっています。周囲の状況に合わせて価値観が変わったとしても、動機は変わりません。無意識レベルの深いところにあるため、行動が変わっても動機は変わりません。価値観は変わるのは表面的な変化で、価値観を生み出す動機が変わったわけではありません。

○感想

初のオンライン講座で、準備も今までと異なり、打ち合わせを重ねての開催でした。多くのお申込みをいただき、Zoomのログインもご質問も少なく、受講された皆様のご協力に感謝いたします。

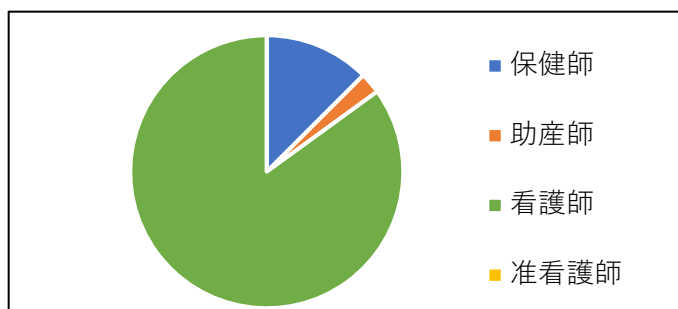
新型コロナウイルス感染症の対応で大変な毎日だと思いますが、仕事の内容ではなく、自分自身に目を向けた内容は、自分自身を振り返る貴重な機会となり、同じタイプの方とお話する中で、リフレッシュにもなったのではないかと思います。講師とも、他の受講者とも交流できる内容となったと思います。

研 修 名	令和3年度 保健師職能集会・講演会 タイトル：「エニアグラムを学ぶ ～個々の特性を生かしたマネジメントから職場を変える～」 講 師：日本エニアグラム学会 副理事長 内田 智代氏
研修年度	2021年度
研 修 日	令和3年7月8日（木）
開催方法	オンライン講習（Zoom）
研修時間	13時30分から16時30分（受付12時30分から）
参加人員	定員50名 応募人数 77名 参加者 46名 内訳：会員 44名 非会員 2名 職種（保健師 5名、看護師 40名、助産師 1名）
会 場	神奈川県総合医療会館 6階第一研修室

◆令和3年度 第1回 保健師職能委員会研修会（回収数40） R3.7.8

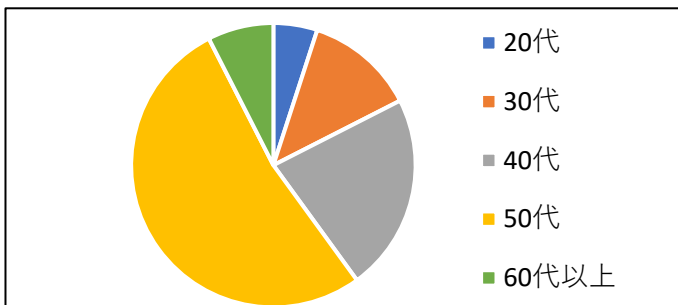
(1) 参加職種

保健師	5
助産師	1
看護師	34
准看護師	0



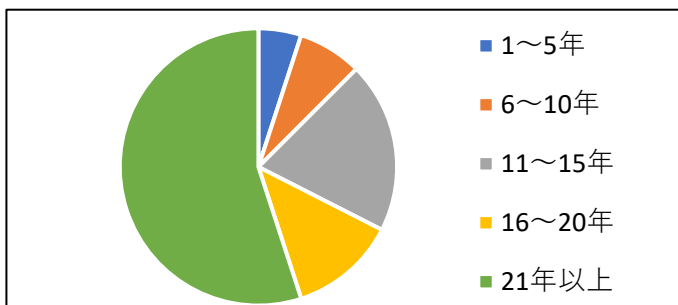
(2) 年代

20代	2
30代	5
40代	9
50代	21
60代以上	3



(3) 経験年数

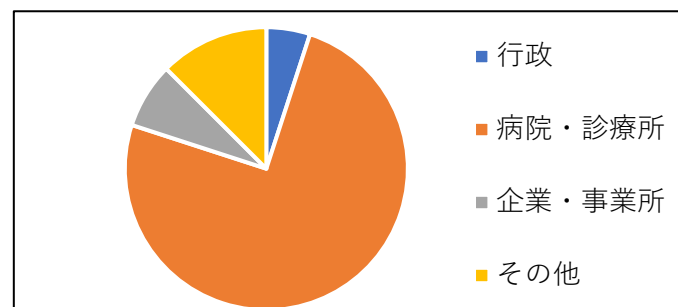
1～5年	2
6～10年	3
11～15年	8
16～20年	5
21年以上	22



(4) 所属

行政	2
病院・診療所	30
企業・事業所	3
その他	5

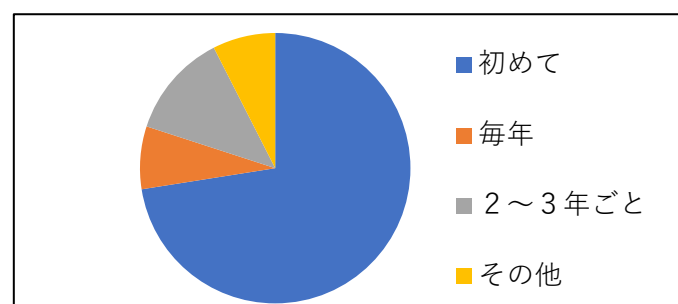
* その他：訪問看護St、助産所、学校、
社会福祉協議会等



1 保健師職能委員会の企画する講演会や研修会の参加状況

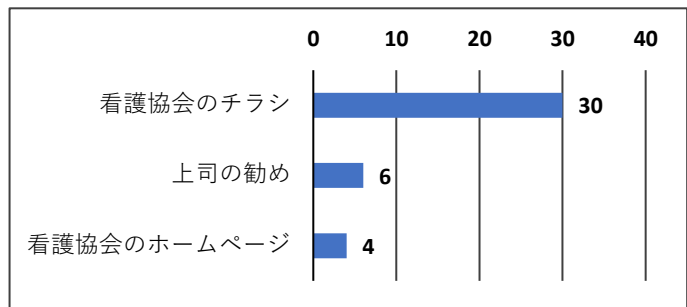
初めて	29
毎年	3
2～3年ごと	5
その他	3

* その他：興味のある講演、時々参加等



2 研修をどのようにして知りましたか

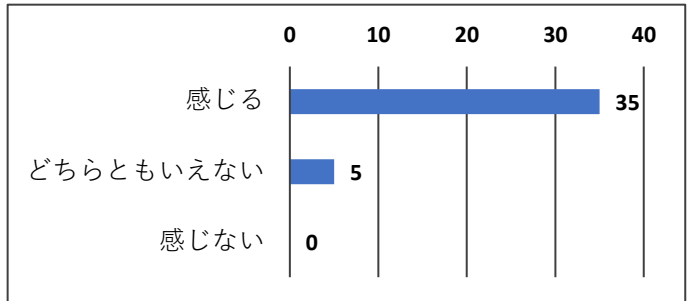
看護協会のチラシ	30
上司の勧め	6
看護協会のホームページ	4



3 研修の内容について

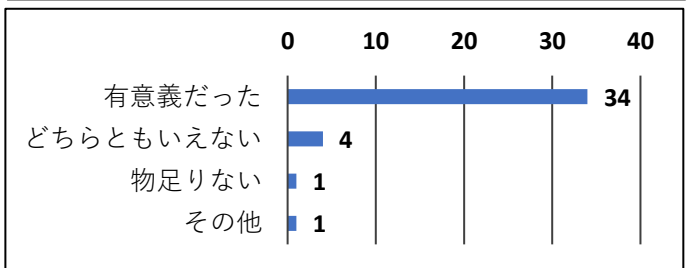
(1) 必要性を感じるものでしたか

感じる	35
どちらともいえない	5
感じない	0



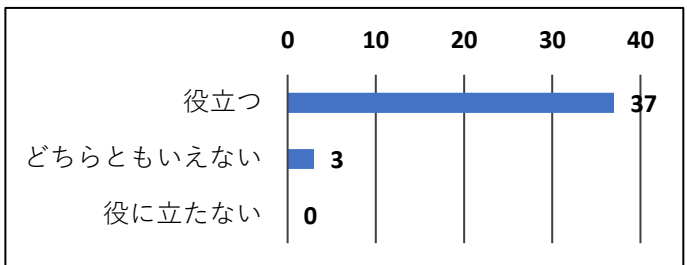
(2) 有意義でしたか

有意義だった	34
どちらともいえない	4
物足りない	1
その他	1



(3) 今後の職務に役立つものでしたか

役立つ	37
どちらともいえない	3
役に立たない	0



4 研修会の感想・お気づきの点

- 自分の特性を知ることの奥深さや、自分の感覚とは全く異なる人が8タイプもあることで、自分と他者の違いを尊重することの大切さを学びました
- 初めてzoomを利用した研修会に参加しました。グループワークが出来るイメージが持てなかったですが、とても上手く導いてくれて、対面と同様にできました。ありがとうございました。
- このような、自分を見つめる研修は、仕事、仕事の今は、気持ちが新たにできるので、看護協会主催などで定期的実施してくださるとありがたい。
学会とか、ワークショップだと、お金もかかるし、もっと定期的に参加しないといけないので、かえって負担になる場合がありますので。
- 初めてエニアグラムという言葉の意味を知りました。
グループワークで同じタイプの方々だけで話すとタイプの良さを強く感じました。ただ、世の中同じタイプの人だけでは回らないと内田先生がお話していた通りの事を感じました。いろんな人がいて得意な役割や良さがあると実感しました。職場での良い人間関係が作れたら、どんなに良いかと思います。そのためにもとても有意義な研修でした。